

# 平成 23 年度事業計画案

(平成 23 年 4 月 1 日より平成 24 年 3 月 31 日まで)

ボンド磁性材料に関する下記事業を実行するとともに、ボンド軟磁性材料関連の法人会員の加入を促し、生産動向および技術動向の基礎資料の収集を図る。

## (1) ボンド磁性材料の生産、消費に関する調査研究

### 1. ボンド磁石関連の生産、消費に関する調査研究

#### 1.1 ボンド磁石出荷統計データの収集方法を新たに構築する

生産工場の海外移転、中国国内企業の成長、さらにはコンプライアンスに対する取り組み強化などにより、法人会員の減少が進んでおり、出荷統計データの入手が困難になっている。また、協会内部で生データを取り扱うこと自体がコンプライアンスの観点で難しくなる傾向がある。したがって、集計を第三者機関に依頼することを計画中である。費用が新たに発生するという課題はあるが、この方法を構築することで会員以外への投票依頼がし易くなるため、統計データの精度向上が期待できる。

#### 1.2 国内外のボンド磁石生産状況及び関連するセット統計情報を把握し公表する

「2011 年・日本ボンド磁石業界推定値(速報)」平成 24 年 新年賀詞交歓会にて公表

「2011 年・ボンド磁石関連セット統計」BMニュース 46 号、47 号に掲載

「2011 World Bonded Magnet Output」平成 24 年 4 月 法人会員限定で公表

「2011 年ボンド磁石の需要予測」平成 24 年 4 月 法人会員限定で公表

### 2. ボンド軟磁性材料の生産、消費に関する調査研究

#### 2.1 軟磁性材料の材質別、用途別の生産状況把握と生産統計作成のための情報収集

## (2) ボンド磁性材料に関する国内外の情報収集

### 1. 関連団体との交流

国内関連団体との交流を密にして情報の交換をおこなう。

### 2. 海外学会業界団体との交流

海外の市場動向、技術動向を把握するため、積極的な交流を通じて情報収集を進める。

☆ ICPM-2011\_Russia で大森専務理事が招待講演予定 (9 月 19-23 日)

### 3. 「永久磁石の国別輸出入統計値の収集」BMニュース 46 号、47 号に掲載

### (3) ボンド磁性材料の技術に関する調査研究

#### 1. 技術例会の開催

会員間の技術的向上を図るためタイムリーなテーマを取り上げて講演会を開催し討議の場を持つ

**第 79 回技術例会「希土類磁石の開発動向と応用事例」 (2011/5/19)**

**第 80 回技術例会「未定」 (2011/9/15)**

#### 2. 規格及び規準の制定

##### 2.1. ボンド磁石関連

「**ボンド磁石試験方法ガイドブック**」のPR・頒布を行う

##### 2.2 ボンド軟磁性材料関連

ボンド軟磁性材料の材質別、用途別規格の調査

### (4) ネットワーク活用による情報伝達の効率化

1. 協会ホームページ活用により、協会活動(シンポジウム、技術例会、寺子屋塾の開催等)をPRする。
2. 電子メールを活用することで情報伝達を効率的に行い、経費を削減する。  
各種行事の申込みを Web 上で出来るようにする・・・文字化け対策が必要。
3. FAX の自動送信機能を利用することで作業を効率的に行い、経費を削減する。
4. Excelを用いて領収書、請求書等の各種帳票類を発行することで効率化を図り、電子請求書(pdf)を活用することで経費を削減する。

### (5) ボンド磁性材料の普及啓発

#### 1. 機関誌の発行

**機関誌「BM News46号、47号」**を10月、4月を目標に発行する。(既刊 No1～No45)

#### 2. 講演会および講座の開催

業界環境変化に即応した講演会又はシンポジウムを適時開催し、ボンド磁性材料業界の活性化とユーザー・メーカーへの啓蒙を推進する。

**1. 30周年記念行事「ボンド磁石 30年の発展を支えた技術と新しい技術」 2011/12/9 開催予定**

**2. JABM新春公開セミナー 2012/1/13 開催予定**

**3. 寺子屋BM塾 2011年前期講座開催**

**BM総括講座:ボンド磁性材料の基礎と応用**

**第1講 5月13日 講師 芳賀 美次 (アクテム代表、BM協会長)**

「ゴム・プラスチックとフェライト系ボンド磁石」

第2講 6月17日 講師 大森 賢次 (元住友金属鉱山(株) BM協専務理事)

「レアアースと希土類系ボンド磁石」

第3講 7月22日 講師 五十嵐 和則 (三菱マテリアル(株) BM協技術委員)

「ソフト磁性材料と圧粉磁心」

4. 寺子屋 BM塾 2011年後期講座開催素案

入門講座「永久磁石の基礎と応用」

第1講 9月 講師 浜野正昭 (社)未踏科学技術協会 評議員・特別研究員)

第2講 10月 講師 小林久理真 (静岡理工科大学 教授)

第3講 11月 講師 未定

3. 国内外における関連業界団体が開催する事業に協賛し、必要に応じて参加し相互交流を深める。

4. 校正用磁石セット頒布の継続と促進

校正用磁石を用いることにより、磁気測定値の信頼性向上を図る。

Ver.2 50セットは2011 4月時点で48セット頒布済み。

Ver.3 50セット用材料は入手済みで10セットの磁気測定終了。

◇ 9月の技術例会で再度詳しく紹介する予定。

(6) 協会体制の充実と組織強化

1. ボンド磁石およびボンド軟磁性材料関連の未加盟主要メーカーの加入促進を図る。

2. 協会の安定性・永続性をめざして協会体制の充実を図り業界の活性化に努める。

3. 見学会、研修会を開催し、会員相互のより一層の親睦融和を図る。

以上